明石市立江井島中学校　３９回生　第３学年進路通信

平成２９年７月１９日　　NO. ３７

さくら39（さく）

充実した夏休みにしよう！

いよいよ長い夏休みが始まります。先日まで行われた三者懇談会で担任の先生から「今、現在の進路希望の実現の可能性」や「これからの生活について」などアドバイスを受け、気持ちも引き締まり夏休みを迎えようとしていることと思います。

今のがんばるぞ！と決意した気持ちが長い休み中、ずっと持続することは難しいことかもしれないですが、これからの人生では自分自身で乗り越えないといけない山がたくさんあります。
その１つめの大きな山（試練）に、強い気持ちで立ちむかっていきましょう。

夏休みの学習方法　　目標を定め、効果的な計画を立てよう！



1，今までの学習方法を反省してみよう。

○授業を真剣に受けたか、宿題はしっかりできたか、わからないことをそのままにしていないか、などを振り返って意識を高める。

○ノートの提出、内容、使い方を振り返り２学期、どのようにすべきか考える。

2，目標を定めよう！

○自分の進路を見通して学習の目標を具体的に考えよう。

3，効果的な学習計画を立てよう！

○夏休みの課題を早めに済ませ、そのなかでわからない問題を１つでも多く減らしていく。

○「何時から何時まで勉強する」のように目標時間を設定することも大切ですが「何ページから何ページまで」のように 学習目標量を設定する方法 も目的意識が持てて集中しやすい。

○不得意教科や不得意分野をとにかくつぶしていく努力をしよう。

○勉強中はテレビや音楽、スマホの誘惑に負けないように 自分でルールをつくり 、集中して取り組もう。

○休憩時間や体を動かす時間、などの工夫をしてメリハリをつけよう。

夏を制する者は受験を制する！　とにかく努力した者が最後は笑えるのです！！

受験のココロ　高校入試編



21 ヘリコプターペアレント

子どもの成長を信じて

「ヘリコプターペアレント」という言葉を耳にしました。上空で旋回し続けるヘリコプターのように、子どもを監視し続け、過剰に首を突っ込むお親のことを指すそうです。類義語には「カーリングペアレント」というのもあるそうで、ことがスムーズに運ぶよう、困難を先回りして取り除く親という意味です。いずれも子どもに対する過保護、過干渉をやゆする言葉です。

多くの方は「そんな過剰な人もいるよね」と人ごとに思うでしょう。しかしその要素は、ほとんどの親たちが持っているかもしれません。もちろん私の中にも。

最近、あるお母さまから、相談を受けました。「中学3年の息子はそれなりに勉強もしているが、ストレスのはけ口か、深夜までスマホで動画を見るなど、だらしない生活リズムになっている」とか。「朝起きられず、朝食も取らずに遅刻寸前の登校を余儀なくされている。心配して背中を押すのに、無愛想で不機嫌な態度をついて家を出る息子ですが、それでも遅刻だけはさせられないから」と語るお母さまは、最後は涙声に。見識のある方だとお見受けしていましたが、母親とはそういうものだなあと改めて感じ入った次第です。

人は、自分の経験から出てくる言葉しか言えません。その点、います。しかし胆力を持ち、成長を信じ、子どもが自力で乗り越えるさまを観察できたとき、親としてより深い喜びを見いだせるはずです。

それともう一つ。悪態をついて登校した息子さんは、帰宅後しばらくして、つぶやくように「朝、ゴメン」と言ったそうです。大丈夫、通じてますから。

（井沢伸平・若松塾理事長）

神戸新聞　２０１７年6月２５日掲載

受験生が家にいると家族も気を遣います。
もちろん、家族構成や考え方にもよりますが、多かれ少なかれ気を遣うものです。
上に書いてある『ヘリコプターペアレント』・・・読んでいて私もドキッとしました。これは何も受験に関してだけでなく、日常生活でもあらゆる場面であてはまります。

そして、『ヘリコプターティーチャー』になっていないか？とはたと心配になりました。いや、なっている自覚が十分にあるのです。だから、『少々の痛い目は成長の糧』と自分に言い聞かせ２学期にそなえようと思っています。

保護者の方もつかず離れず、ほどよい距離で見守ってください。
生徒のみなさんは、応援してくれる人がいることを感じながら、この夏、成長してください！

